

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2023年3月6日
明治大学の所属学部・研究科	商学部マーケティング専攻
留学(渡航)した時の学年	4年生
帰国年月日	2023年2月28日
明治大学卒業予定年月	2023年3月
留学先大学について	
留学先国	オーストリア
留学先大学	ウィーン大学(日本語名) Universitt wien(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	ドイツ語/ドイツ語・英語
留学期間	2022年10月~2023年2月
留学先大学で在籍した学年	4年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語):地理学 (現地言語での名称):Geography <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例:1学期/4月上旬~7月下旬、 2学期/9月中旬~2月上旬	1学期:10月~1月 2学期:3月~6月 3学期: 4学期:
学生数	約90,000人
創立年	1365年

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (ユーロ)	日本円	備考
授業料	0	0円	大学間協定留学
宿舍費	1845	260,000円	369€×5ヶ月
食費	2700	380,700円	
図書費	0	0円	
学用品費	0	0円	
携帯・インターネット費	60	8,460円	10€×6ヶ月
現地交通費	70	9,870円	Semesterチケット70€(☑大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	150	21,150円	美術館、
被服費	100	14,100円	
医療費	0	0円	
保険費	450	63,510円	形態:東京海上の留学保険
渡航旅費	1430	200,000円	往復便+ヨーロッパでの旅行
ビザ申請費	0	0円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計	約 6800	約 960,000円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地:東京 目的地:ウィーン 経由地:アブダビ	
復路 出発地:ウィーン 目的地:東京 経由地:台湾	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金:	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:Etihad Airways 料金:75,000円 復路 航空会社:Eva air 料金:40,000円 ∴合計:115,000円	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:)	
<input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:skyscanner)	
<input type="checkbox"/> その他()	

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前:) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

<https://studierendenheime.diakoniewerk.at/> から住みたい部屋を選択し、オファーを入れ、メールにて 500€の保証金(返金される)を先払いし、入居日当日に鍵と契約書を受け取りました。

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

6月頭から探し始め、OEAD と StuwO にオファーを入れましたが、2週間経っても返信がなく、希望の部屋が取れなかったため、OEAD で探した部屋を運営する会社に直接問い合わせしました。
また、この寮のオフィスが土日閉まっており、10月1日が土曜だったため、もし入居日が土日挟んで月曜になり、泊まる場所がない可能性もあったため、気をつけたほうがいいと思います。私の場合は、事前に連絡をし金曜に鍵を受け取ることができ、柔軟に対応してくれると思うので、ダメ元でも聞いてみるのが大事です。

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)

なし
あり(治療を受けた場所:)2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)なし
あり(問題の内容や相談した人等:)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

私が住んでいた9区は大学が多く治安がとても良かったです。wien hauptbahnhof 周辺は治安が悪いと友人から聞きました。チャック付きのカバンを前で抱えるといった対策はしました。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

Hofer にて sim を購入し、月 29GB で 9.9€(日本円 1435 円)のプランを契約しました。Hofer が最も安いと思います。携帯も、寮の wifi は基本繋がりがやすかったです。大学の wifi は繋がりにくかったです。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

寮への家賃振り込みのため、オンラインバンクの N26 を開設しました。本人確認のためパスポートを登録するだけで、当日開設できました。開設費用も維持費用はかかりません。日本のクレジットカードはレートが高くなり、手数料も上乗せでかかるのであまり使わないようにしていました。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

日本食の調味料は持っていくといいと思います。ウィーンにはアジアマーケットが沢山ありますが、日本より 3 倍ほど高いので、だしや醤油などは必須だと思います。また、百貨がないので、洗濯バサミや充電コードなど百貨で買える日用品は持っていくといいです。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
9 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input checked="" type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:留学前に卒業単位を取りきっていたため。)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
UE Guided Reading Austrian History 1-Social and economic consequences of the "General Crisis"	オーストリアの歴史講読-「一般危機」の社会的経済的結果-
科目設置学部・研究科	歴史学部
履修期間	冬学期
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	ゼミ形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	Grigor Boykov
授業内容	17世紀の一般危機に関する論文を用いて一般危機の概念、原因、結果についてディスカッションを行いました。
試験・課題など	予習で論文を読み、General Crisisにおける主要なテーマについての課題を提出し、general question という授業で議論する質問を考え、オスマン帝国におけるジェラリの乱に関するプレゼンを行いました。
感想を自由記入	毎回20名ほどの生徒によるディスカッションがあり、内容が専門的で難しかったです。予習をしっかりとこなし、教授が補足して下さるので、どうにか理解できました。異なる著者による論文を複数読むことで、それぞれの事象を17世紀の一般危機と括っていいのか、真の原因が何か、気候変動が直接的に関わっているのか、そもそもの概念から疑いを持つクリティカルシンキングを伸ばすことができました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Market Entry Strategie	EUにおける新規参入戦略
科目設置学部・研究科	
履修期間	冬学期
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	ゼミ(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	Oksana Galak
授業内容	EU圏内における市場参入戦略について、マーケティング手法、CSR、アウトソーシング、貿易、知的財産の管理などセッションごとに学びました。
試験・課題など	授業中にzaraのswot分析をグループで行ったり、要約、クイズに答え、グループワークではIPビジネス、フランチャイズ、ライセンスについてまとめオリジナルwikiページを作成し、他の生徒が執筆したものへの評価フィードバックを行いました。
感想を自由記入	授業中の発言をあまりできなかったため、授業後に積極的に質問をしに行くことで、授業にしっかり参加しているアピールを行っていた。グループワークでもライティングが他の生徒より劣っている分、wikiページの精査と編集を担い、できるだけ自分の価値を発揮することに注力した。プレゼンに関しても、論文内容を理解した上で要約する力がつきました。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記2以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など
one career, encourage, マイナビなど
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
IT 広告
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
就職活動終了後、留学に行きました。就活の心配をすることなく、自分が本当に学びたいことに集中できたので、4年生で留学するのは一つの選択肢だと思います。ただ、留学を通じてやりたい方向性も変わったので、留学後に就活を行う方がミスマッチが減ると思います。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。
 (例:語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、
 期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	留学に向け情報収集を始める
	10月～12月	TOEFL 試験勉強/志望理由書/留学中の友人に相談/選考出願面接受ける
留学開始年	1月～3月	ウィーン大学より入学許可書が届く
	4月～7月	寮探し/航空券購入/
	8月～9月	渡航/留学開始前に母とヨーロッパ旅行
	10月～12月	冬学期開始/住所登録(Meldezettel)/12月中旬よりクリスマス休暇
留学/帰国年	1月～3月	期末試験/冬学期終了/帰国
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

大学1年生からドイツ語を履修し、大学2年時にオーストリアについての授業を履修していたため、ウィーンに住みウィーン大学に通うことに憧れていました。また、ITを用いて地方創生に取り組むために、「Smart City Strategy Index 2019」で1位に輝いたウィーン市が推進するスマートシティについて現地で専門的に学びたいと思いました。

私自身今年の3月に山梨に移住し、北九州市に特化したイベント運営にも携わったことで地方創生に強い関心を持ち、地方創生の鍵となるスマートシティの現状と今後の課題を現地の学生と議論するため、ウィーン大学を選びました。

ウィーン大学の本館はドイツ語圏最古の大学であり、クリムトが描いた絵が飾っているなど美術館のような美しい作りになっており、学部ごとに建物が分かれており、キャンパスがとても広いです。図書館やフリースペースは常に混んでおり、日本に比べ勉強熱心な学生が多いです。ウィーン大学はエラスムスという留学生が多く、英語の授業ではオーストリア人より留学の方が多く、アジア人はクラスに私一人しかいませんでした。また、ドイツ語圏で唯一日本語学部があるので、友人はチューターとして授業のサポートを行うなど、日本に興味を持っている学生と交流しやすいです。ウィーン大学から徒歩10分の学生寮でトイレ・キッチン・一人部屋に住んでいました。寮の友達とワールドカップを観戦したり、寮のキッチンでドイツやポーランドの友人10名以上を誘って寿司パーティーを開き、巻きずしの使い方を教えながらみんなで巻き寿司を作りとても楽しんでもらえました。

私がウィーン大学を志望する最初のきっかけは、美しい街並み、シェンブルン宮殿など豪華絢爛な建築、音楽や舞台など文化への強い憧れからウィーンに住んでみたいというものでした。初めから留学する明確な目的がなくとも、自分を変えたい殻を破りたいという意志と自分を変えたい部分に対する目標があれば意味のあるものになると感じました。日本からの留学生とは適度な距離感で関わり、現地の学生やエラスムスの留学生との交流を積極的に増やしていくことが重要だと思います。6ヶ月はあっという間なので、後悔しないようにやってみたいと思ったことは全て挑戦し、一瞬一瞬を大切にしてください。